


「仙台版防災教育副読本を活用した指導事例」

学校名 [仙台市立中野学校] 氏名 [色摩 理好] [中] 学校 [29] 年版 単元名 [自分を守る] P37 教科・領域名 [学校行事] [時間 50分]	
主な学習活動 (実際に行った活動)	指導の実際
<p>【ねらい】東日本大震災の経験をふまえ、津波がきたときにどのように身を守り、避難すればいいのか学ぶ。</p> <p>1 津波避難エリアマップを見て、学区が津波被害区域であることを知る。</p> <p>2 東日本大震災後、どんな津波に関する標識ができたか知る。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>3 津波避難に関する標識について学ぶ。</p> <div style="display: flex; justify-content: center; gap: 20px;">    </div> <p>津波注意 津波避難場所 津波避難ビル</p> <p>4 津波からの避難の手引きを見て、正しい避難方法について学ぶ。</p> <p>5 「正しく恐れる」について考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 「正しく恐れる」とはどんな意味か。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・情報をしっかり集めてから行動する ・よく周りに聞いて行動する ・わからない ・本当に恐れるものだけ恐れる <p>6 津波から身を守るための方法を、問題形式で確認する。</p> <p>7 本時の振り返りと感想を書く。</p>	<p>【準備物】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災副読本 ・津波避難エリアマップ ・津波からの避難の手引き ・ワークシート ・津波に関する標識の掲示物 <div style="text-align: center;">  </div> <p>○それぞれの標識がどのような意味を示しているのか理解させる。</p> <p>※学区が津波被害区域であることから、標識のある場所を問いながら進めるなど、丁寧に指導する。</p> <p>○津波からの避難の手引きを全員に配り、一つひとつ確認しながら説明する。</p> <p>○「正しく恐れる」の意味を丁寧に説明することで、“自分の命は自分で守る”という意識を持つこと大切さに気づかせる。</p> <p>○「津波てんでんこ」の言葉を紹介し、どんな思いが込められているのか説明する。</p> <p>※これらの言葉の意味を説明したことで、生徒は自分自身が正しい行動を理解していなくては行けないと強く自覚していた。</p>
<p>●生徒の感想</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この授業を聞いて、とても防災意識が高まった。 ・災害が起きたら、まず自分を守ることが大事だということを知った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・この授業を受けて、どのように行動したらいいのかわかった。 ・「津波てんでんこ」の意味を聞いてはらばらに逃げることを理解した。